

## ●平成25年度第2回清掃審議会 照会票まとめ

委員名	資料番号等	照会内容の要旨	事務局回答
八子委員		<p>●レジ袋について</p> <p>レジ袋の有料化は、消費税をはじめ諸物価高騰のおりから現時点では難しいと判断されるわけですが、企業が横並びで無料化の域を出ない状況を踏まえ、このまま看過できない問題でもあります。消費者意識が今のままでは、レジ袋をはじめとしたごみの減量はそれ程期待できそうもないように思います。</p> <p>前回、熊田委員が出された提案（退職者の協力を仰ぐ）をもとに、私個人としては現在のクリーン推進委員の活動の中に、年1～2回一斉にごみステーションに出されたビニール（月1回）ごみの実態調査をしてはどうかと提案いたします。</p> <p>自治会によってはクリーン委員の活動に温度差があり、熱心に取り組まれている方もおられるかとは思いますが、ごみのさらなる減量と意識改革につながるならと考える方もいるのではないかと。また、その際のデータを市報などのメディアで公表（各政令市あるいは人口規模が同程度の都市との比較対照で）し、遅れている面について再認識を促すなど、ごみ処理手数料に余裕があるならば、実施可能かと思えます。また、学生の協力をお願いするという場面も考えられます。</p>	<p>レジ袋の削減の取り組みについての市の考えは、前回の照会票でお示した通りです。ただ、社会の流れとしてレジ袋削減の取り組みが広がりつつある中では、市民意識の醸成も踏まえ、事業者との意見調整を進めながら、効果的な削減手法を検討していきたいと考えています。</p> <p>なお、クリーンにいがた推進員の活動にごみの実態調査をお願いしてはどうかというご提案ですが、あくまでボランティア的な立場で自治会・町内会の一員として活動いただいている推進員の方々に、地域の他の方が出されたごみの内容を確認させるという行為は、ともするとプライバシーの侵害となり、地域のトラブルを誘発する可能性を含んでいます。このため、ご提案の内容を実現することは非常に困難と考えています。</p> <p>なお、市では毎年ごみ組成調査を実施しており、家庭系ごみ、事業系ごみの内容物にどのようなものが含まれているかを調査し公表しています。</p>
八子委員		<p>●マイボトルの利用率について</p> <p>2年目になるわけですが、このキャンペーンが終了してデータが揃ったら、おそらく次年度への検証がされると思います。できれば次年度は「利用者の声」のスペースを設けては如何で</p>	<p>今年度のマイボトルキャンペーンにおいても、スタンプラリーの応募はがきに選択式のアンケートを掲載しています。現在、利用者アンケートを集計しているところですが、これをもとに次年度の事業を検討していきたいと考えています。</p>

		しょう。次へのよいヒントがあることと思います。	利用者の声については、インターネットを利用するなど、意見を効率的に収集する方策を検討します。
八子委員		<p>●直搬ごみについて</p> <p>今回値上げせずに料金据え置きで決まりましたが、熊田委員の「分別もしないで直搬した方が面倒もなく簡単で安く手取り早い」という意見が事実だとすると、搬入する一般市民は極めて安易な方向へ流れるのではないかと危惧いたします。</p> <p>この件で、山下委員の考えもうなずけます。今回の決定は今後の様子眺めということで、これ以上増やさないためにはどういった手立てが必要か検討することも必要ではないでしょうか。広域にしたので今回は増えたという回答でしたが、これを知った市民が安易に行動してこないとも限りません。職員が搬入後分別に時間をかけるのであれば、大きな問題でもあります。</p>	<p>統計上、直接搬入ごみ量は増えているところですが、市民から搬入についての問い合わせがあった際は、燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみを種類ごとに分けること、また、再生可能な古紙類は搬入できないことを伝えています。さらに、直接搬入時に著しく分別が悪い者に対しては、分別のし直しを指導する等の対応をしているところです。</p> <p>直接搬入時の分別の徹底や搬入量増加への対応については、引き続き検討を進めていきます。</p>
八子委員		<p>●びん・缶のごみについて</p> <p>びんはケースに入れる形ですが、缶はビニール袋で出しています。見ていますと、大きなビニールに半分にも満たない量の間での出し方が結構見られます。レジ袋が無料で必要であるという理由づけの1つになるわけです。</p> <p>びん同様に色を違えたケース（縦型、もちろん折り畳み式）でのやり方は考えられないでしょうか。試験的にでも。</p>	<p>びんの回収時を専用コンテナで行っているのは、びん割れを防ぎできるだけ高品質なリサイクルを担保するためです。ただ、現状でもビニール袋等に入れたままコンテナに排出されることがあり、この注意喚起を10月13日発行のサイチョプレスで行ったところです。</p> <p>缶もコンテナで回収されてはどうかというご提案ですが、缶は割れる心配がなく、回収後圧縮して金属資源にリサイクルされるため、コンテナで回収する必要性は薄いと考えられます。また、設置スペースが限られているごみ集積場もあるため、缶のコンテナを追加設置するのは現実的にも困難です。</p>